

行政報告

令和4年第6回定例会

官製談合事件の再発防止の取り組み 3年ぶりに夏祭り開催 駅伝大会で熱戦が繰り広げられる

令和4年第6回鹿角市議会定例会が9月2日から25日間の会期で開かれました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■市制施行50周年記念事業

NHKの「新・BS日本のうた」の開催を皮切りに、市民提案事業の「ありがとうカード・ありがとうメッセージ募集」や、「私が切り撮る鹿角フォトコンテスト」の募集、賑わい創出補助金による記念事業など、さまざまな事業を行っています。多くの方々にご参加いただき、市制施行50周年を祝っていただきたいと思っています。

■市発注工事を巡る官製談合事件

6月21日に、第三者委員会からの報告書で示された再発防止対策を踏まえ、再発防止に向け

た取り組みを進めており、これまで2つの職員研修を実施しました。

1つ目は、入札談合に関連する法制度などへの理解を深め、入札談合を許さない体制を構築することを目的として、7月21日、22日に、公正取引委員会事務総局 東北事務所から講師を招き、「入札談合等関与行為防止法・独占禁止法研修」を実施しました。管理監督職を含む主査級以上の職員145人が受講しました。

2つ目は、コンプライアンスに対する職員の意識向上と不祥事を発生させない組織体制の強化を目的として、8月1日、2日、17日に、全職員を対象に「コンプライアンス研修」を実施し、

職員297人が受講しました。

このほかに、第三者委員会から示された対策として、外部の有識者による入札監視機関と、公益通報制度の実効性を高めるための外部の通報窓口を10月から設置する予定で準備を進めています。

8月29日には、市民説明会を2回開催し、第三者委員会から示された再発防止対策について説明しました。市民説明会には、合わせて44人が出席し、出席者からは市役所の組織体制の改善や、入札制度の見直しに対する意見などをいただきました。こうした意見を踏まえ、再発防止に向けた改革を進めていきます。

■かづのキャンパス構想の推進

市全域を舞台に、学生の学びや交流活動のほか、地域貢献活動などの実践を通じて、大学と地域の域学連携を推進するため、包括的連携協定を締結している学校法人武蔵野大学の学生を3年ぶりに受け入れ、総勢29人の学生が地域課題解決のためのプログラムに取り組みました。

■新型コロナウイルスワクチン接種

8月末時点での全年代の接種状況は、3回目接種を終えた方が78・8%、4回目接種を終えた方が32・2%となっています。

していきます。

■森林の適正管理

「森林経営管理制度」に基づき、8月22日から4日間、花輪の内山と甘路地区の森林所有者に対し、今後の森林経営や管理についての説明会を開催するとともに、森林経営の意向調査を実施しています。

また、昨年度に意向調査を行った八幡平の松館地区と長牛地区については、航空レーザ計測や資源解析などにより、一筆地ごとの材積の把握と国土調査の未実施地区の境界明確化を進め、今後の経営管理方法を定める経営管理権集積計画を作成します。

■3年ぶり開催の主な夏祭りの入込み数

コロナ禍での開催となったことから、各祭りとも一部内容の変更や期間短縮などとともに、感染症対策を講じながら開催されました。花輪ばやしの入込み数は17万9千人で、コロナ禍前の令和元年と比較し、18・6%減少しましたが、リニョーアルした駅前広場での初の開催に加

え、かづの花通り商店街振興組合による市制施行50周年を祝う花火も打ち上げられるなど、来場者からも好評でした。

毛馬内盆踊りについては、例年より1日短い2日間の開催でしたが、一般の踊り手の参加に加え、今年は地元団体による大太鼓響演が実施され、入込み数は1万人となりました。

また、市制施行50周年記念事業として、10月1日、2日に、大湯ストーンサークル館を会場に市内の祭りや伝統行事が一堂に会する「大鹿魂祭」を開催します。多くの皆様にご来場いただけるよう、積極的に情報発信します。

■エネルギー政策

2030年までのカーボンニュートラル達成に向けた取り組みと、かづのパワーが果たすべき役割への理解を深めるため、「カーボンニュートラル普及促進講演会」を全4回開催することとし、8月27日に、第1回目を開催しました。株式会社ローカルエナジーの上保裕典氏を講師に迎え、「脱炭素から始まる持続可能な地域づくり」と題した講演に、オンライン参加

を含め36人から参加いただきました。

エネルギーを巡る情勢は、ウクライナ情勢やエネルギー価格の高騰により、先行きが不透明な状況ですが、かづのパワーの安定的な電源の獲得に向け、引き続き、市内にある発電所との相对契約を目指し、粘り強く交渉を続けていきます。

■駅伝大会の開催

7月30日に、総合運動公園内の特設コースを会場として、浅利純子杯争奪第16回鹿角駅伝を開催し、24チームによる熱戦が展開されました。今大会では市制施行50周年を記念し、スポーツジャーナリストの増田明美さんによるウォーミングアップ指導と実況解説で大会を盛り上げていただいています。

また、8月7日に開催した第75回十和田八幡平駅伝競走全国大会では、男女合わせて22チームが真夏の鹿角でタスキをつなぎました。天候に恵まれ、4人が区間新記録を出すなど、熱い戦いが繰り広げられました。

総務課 行政班
☎30・0203



官製談合再発防止に関する市民説明会



新型コロナウイルスワクチン接種



北限の桃出荷報告



3年ぶりの開催となった花輪ばやし



熱い戦いが繰り広げられた十八駅伝